

安全データシート

作成:1998年11月 9日

改訂:2024年 9月10日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KX002-11
製品名 : ネオエステリン
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性 : 引火性液体 : 区分3
健康に対する有害性 : 生殖毒性 : 区分2
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(中枢神経系、全身毒性)
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(血液系)
: 区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)
環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分2
: 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分2

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・引火性液体および蒸気
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(血液系)の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器、肝臓、脾臓)の障害のおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地すること。アースをとること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、を使用すること。

- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【応急措置】

- ・皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
- ・火災の場合：消火するために適切な消火剤(5. 火災時の措置参照)を使用すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・換気の良いところで保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

- ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル
- ポリオキシエチレン脂肪酸エステル
- ポリオキシエチレン樹脂酸エステル

| | | |
|----------|------------------------|-------|
| 成分及び含有量： | ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル | 20.0% |
| | ポリオキシエチレン脂肪酸エステル | 10.0% |
| | ポリオキシエチレン樹脂酸エステル | |
| <その他> | 有機溶剤、水等 | 70.0% |
| | イソプロピルアルコールとして | 15.0% |
| | イソブチルアルコールとして | 4.0% |

化学式： (C₂H₄O)_n・C₁₅H₂₄O／ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル
 (CH₃)₂CH₂O／イソプロピルアルコール
 C₄H₁₀O／イソブチルアルコール

| | | | |
|-----------|-----|--------|------------------------|
| 官報公示整理番号： | 化審法 | 7-172 | ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル |
| | | 7-88 | ポリオキシエチレン脂肪酸エステル |
| | | 8-29 | ポリオキシエチレン樹脂酸エステル |
| | | 2-207 | イソプロピルアルコール |
| | | 2-3049 | イソブチルアルコール |

| | | |
|---------------------|------------|------------------------------|
| CAS RN [®] | 68412-54-4 | ／ ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル(分枝) |
| | 68154-29-0 | ／ ポリオキシエチレン脂肪酸エステル |
| | 8050-33-7 | ／ ポリオキシエチレン樹脂酸エステル |
| | 67-63-0 | ／ イソプロピルアルコール |
| | 78-83-1 | ／ イソブチルアルコール |

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、

石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。製剤に含まれている有機溶剤による中毒も考慮する。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

適切な消火剤：霧状の強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末(りん酸塩類、炭酸水素塩類)を放射する消火器、乾燥砂、膨張する石又は膨張真珠岩

使ってはならない消火剤：水

消火活動上の注意：水を消火に用いてはならない。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合は容器及び散水して冷却する。消火のための放水等により、製剤や環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。消火活動は、可能な限り風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：少量の場合には、飛散したものを乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ、掃き集めて密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策：取扱いは換気のよい場所で行い、屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気、ミストを発生させないように取り扱う。誤飲に注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせる。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。

安全取扱注意事項：容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。

火災・爆発の防止：通常の使用方法で問題ない。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管上の注意：通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。多量の危険物の貯蔵は法令による所定の貯蔵庫に類別して貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：イソプロピルアルコール 200ppm(安衛法作業環境評価基準)

イソブチルアルコール 50ppm(安衛法作業環境評価基準)

許容濃度：イソプロピルアルコール 最大400ppm(最大980mg/m³) 日本産業衛生学会勧告値(2023年)

イソプロピルアルコール TLV-TWA 200ppm, STEL 400ppm ACGIH(2009年)

イソブチルアルコール 50ppm(150mg/m³) 日本産業衛生学会勧告値(2023年)

イソブチルアルコール TLV-TWA 50ppm ACGIH(2009年)

設備対策：製造時の取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設ける。

保護具

呼吸用保護具：適切な防じんマスク、防毒マスクを着用する(JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク、農業用マスク等)

保護手袋：ゴム手袋、耐溶剤用手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣:長袖作業着、帽子、保護服(不浸透性)、保護靴等

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|---------------------|
| 外観等 | : 淡黄色粘稠透明液体 |
| 臭い | : データなし |
| pH (100倍希釈液) | : 4.0~6.0 |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : 30.5°C |
| 自然発火点 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 爆発下限及び爆発限界上限/可燃限界 | : データなし |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 密度及び/又は相対密度 | : 比重0.96~1.01(20°C) |
| 溶解度 | : データなし |
| n-オクタノール/水分分配係数(log値) | : データなし |
| 粘度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 化学的安定性 | : 通常の保管条件下で安定 |
| 反応性 | : データなし |
| 危険有害反応可能性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : データなし |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報

| | | |
|-----------------|--|------------|
| 急性毒性(経口) | : ラット LD ₅₀ >5,000mg/kg マウス LD ₅₀ >5,000mg/kg | 「区分に該当しない」 |
| 急性毒性(経皮) | : ラット LD ₅₀ >2,000mg/kg | 「区分に該当しない」 |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | : データ不足 | 「分類できない」 |
| 急性毒性(吸入:ミスト) | : データ不足 | 「分類できない」 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : ウサギ 刺激性なし | 「区分に該当しない」 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | : ウサギ 軽度の刺激性(虹彩の炎症、結膜の発赤)が、72時間後には全匹で回復したことから「区分に該当しない」とした。 | |
| 呼吸器感作性 | : データ不足 | 「分類できない」 |
| 皮膚感作性 | : モルモット 陰性 | 「区分に該当しない」 |
| 生殖細胞変異原性 | : データ不足 | 「分類できない」 |
| 発がん性 | : データ不足 | 「分類できない」 |
| 生殖毒性 | : 区分2に分類されるイソプロピルアルコールを15%含むことから「区分2」とした。 | |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 区分1(中枢神経系、全身毒性)及び区分3(気道刺激性)に分類されるイソプロピルアルコールを15%、区分3(気道刺激性、麻酔作用)に分類されるイソブチルアルコールを4%含むことから、GHS分類ガイダンスに従い「区分1(中枢神経系、全身毒性)」とした。 | |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 区分1(血液系)及び区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)に分類されるイソプロピルアルコールを15%含むことから、GHS分類ガイダンスに従い「区分1(血液系)、区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)」とした。 | |
| 誤えん有害性 | : データ不足 | 「分類できない」 |

12. 環境影響情報

水生環境有害性

- 短期（急性） : 下記、魚(コイ)の急性データに基づき「区分2」とした。
長期（慢性） : 下記データに基づき「区分2」とした。

生態毒性

- 魚 コイ : LC₅₀ (96時間) 8.9 mg/L
甲殻類 オオミジンコ : EC₅₀ (48時間) 23 mg/L
藻類 緑藻 : ErC₅₀ (0-72時間) 20 mg/L

残留性・分解性

- : ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル
(CAS RN[®]:68412-54-4):難分解性
イソプロピルアルコール:良分解性
イソブチルアルコール:良分解性

生体蓄積性

- : ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル
(CAS RN[®]:68412-54-4):低濃縮性

土壤中の移動性

- : データなし

オゾン層への有害性

- : データなし

その他

- : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さず、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

残余廃棄物の廃棄処理を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

消防法等の関係法令の定めに従う。

- 国連分類 : クラス3(引火性液体)容器等級Ⅲ
国連番号 : 1993(他の危険性を有しないもの、N.O.S.)

国内規制

- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
陸上規制情報 : 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。

- 緊急時応急措置指針番号 : 127

15. 適用法令

- 農薬取締法 : 登録番号 第2122号
消防法 : 第4類 第2石油類(水溶性液体) 登録番号4042-093578
労働安全衛生法 : 有機溶剤中毒防止規則第1条 第2種有機溶剤
有機溶剤中毒防止規則第1条 : 第2種有機溶剤 イソプロピルアルコール、イソブチルアルコール
施行令第18条、第18条の2(表示、通知対象物質)
: イソプロピルアルコール(政令番号494、2025.04.01~ 安衛則別表第2の1780)
: イソブチルアルコール(政令番号477、2025.04.01~ 安衛則別表第2の1705)
: ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル(CAS RN[®]:9016-45-9)
(安衛則別表第2の1956)(2026年4月1日施行)
安衛則第594条の2(不浸透性の保護具等、適切な保護具使用の義務)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 皮膚刺激性有害物質(眼に対する保護具の使用のみ必要) イソブチルアルコール
: 第一種指定化学物質 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル
(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)(管理番号410)
毒物及び劇物取締法 : 非該当
船舶による危険物の運搬基準等を定める告示(引火性液体類 高引火点引火性液体)

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。農薬として使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献:
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 - 3) GHS文書 改訂第6版(2015年)
 - 4) GHS分類ガイダンス(Ver.2.1) 経済産業省(令和6年5月)
 - 5) 資材メーカー提供「安全データシート」
 - 6) NITE-CHRIP 有害性・リスク評価情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

| | | |
|----------------|----------------------|--------------|
| 大阪(年中無休、24時間) | 一般市民向け相談電話(無料) | 072-727-2499 |
| | 医療機関専用有料電話(1件2,000円) | 072-726-9923 |
| つくば(年中無休、24時間) | 一般市民向け相談電話(無料) | 029-852-9999 |
| | 医療機関専用有料電話(1件2,000円) | 029-851-9999 |

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件2,000円)は弊社が負担いたします。